

## 5. 両生類・爬虫類・哺乳類調査結果

## 5. 両生類・爬虫類・哺乳類調査

### 5.1 両生類・爬虫類・哺乳類調査結果の概要

#### (1) 確認種

今回とりまとめを行った 10 水系 10 河川で確認された両生類は 2 目 6 科 18 種、爬虫類は 2 目 7 科 15 種、哺乳類は 7 目 17 科 41 種でした。それぞれの確認種数が多かった河川は、両生類では中国地方の江の川、高津川で 13 種、爬虫類では中国地方の江の川で 15 種、哺乳類では中国地方の江の川で 22 種でした。

#### (2) 重要種

今回とりまとめを行った 10 河川で確認された重要種は、両生類が 5 種、爬虫類が 2 種、哺乳類が 1 種でした。国の特別天然記念物に指定されているカモシカが東北地方の北上川、最上川で確認されました。

確認種数が多かった河川は、中国地方の江の川で、4 種確認されました。今回とりまとめを行った 10 河川全てにおいて、何らかの重要種が確認されました。

##### (注) 重要種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を重要種としました。

- 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種および緊急指定種
- 環境省編「レッドリスト」掲載種 (2006: 両生類および爬虫類、2007: 哺乳類)

#### (3) 国外外来種

今回とりまとめを行った 10 河川で確認された国外外来種は、両生類が 1 種、爬虫類が 1 種、哺乳類が 8 種でした。国外外来種の確認河川数が多かった種は、両生類ではウシガエルの 9 河川、爬虫類ではミシシippアカミミガメの 5 河川、哺乳類ではハクビシンの 4 河川でした。また、国外外来種が全く確認されなかった河川はありませんでした。今回とりまとめを行った 10 河川では、何らかの国外外来種が確認されました。

##### (注) 外来種について

外来種とは、本来その生物が生息していない地域に貿易や人の移動などを介して意図的・非意図的に持ち込まれた動植物をいいます。海外から日本に持ち込まれたものだけでなく、国内の種であっても島など独自の生態系を持つ場所に、他の場所から持ち込まれたものは外来種（国内外来種）となります。

ただし、本資料における国外外来種とは、おおそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考慮していません。また、国外外来種の選定には、資料 I.6 (30～31 ページ) および 32 ページに掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。